

小田原市教育委員会協議会会議録

1 日時 平成21年3月24日(火) 午後8時1分～午後8時14分

場所 小田原市役所601会議室

2 出席した教育委員の氏名

1番委員 山田浩子

2番委員 青木秀夫 (教育長)

4番委員 和田重宏 (教育委員長)

5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長 和田豊

教育政策課長 曾我勉

学校教育課長 柳下正祐

教職員担当課長 西村泰和

学校保健課長 伊澤秀一

課長補佐・学事担当主査事務取扱 栢沼一郎

課長補佐兼指導主事・指導担当主査事務取扱 長澤貴

(事務局)

教育政策課課長補佐・教育政策担当主査事務取扱 座間亮

教育政策課上級主査 望月啓一郎

4 議事

(1) 報告事項

①市議会3月定例会の概要について(代表質問) (教育政策課)

②「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」への参加について(学校教育課)

③小学校教諭の「結核」罹患について(学校保健課)

5 議事の概要

(1) 報告事項

① 市議会3月定例会の概要について（代表質問）（教育政策課）

教育政策課長…報告事項「市議会3月定例会の概要について」御報告させていただきます。資料1をご覧ください。市議会3月定例会は、次年度の予算の審議等が行われます。ここでは代表質問についてご説明させていただきます。お手元の資料1をご覧ください。3月定例会は2月18日から開催され、明日3月25日が最終日となっております。代表質問は、2月26日、27日及び3月2日の3日間で各会派から行われました。教育委員会関係といたしましては、全6会派のうち、5会派から質問がありました。内容としては、市長の施政方針演説を受けて、放課後児童クラブ等、これまでの事業の取り組み方、また、少人数学級の拡大や学校支援地域本部などの新規事業等について、多岐にわたる質問がありました。市民の方々が関心を持っている事項につきまして、議員を通じて質問が行われているような状況でございます。なお、このあと報告のございます、全国体力・運動能力、運動習慣等調査につきましても、かなり深い内容の質問がございました。また、教育委員会そのもののあり方、また、定例会において、教育内容についてどのような検討が行われているのか、などについても厳しい質問がございました。詳細については2ページ以降に記載しておりますので、後ほど御覧いただければと思います。以上でございます。

（質疑・応答なし）

② 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」への参加について（学校教育課）

学校教育課長…本日は、前回の定例会でもご審議いただきました「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」への来年度の参加について、ご説明いたします。本調査の概要等につきましては、前回、ご説明いたしておりますので、省略させていただきます。資料「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 参加意向調査実施要領」の1の(1)のア、2項目目をご覧ください。「参加意向のあった学校種別学校数（参加校がない教育委員会についても）」などとあります。また、別紙様式1の表の中にも、「参加意向を表明

した学校数」といった表現が使われております。

このような表現からも分かりますように、本調査への参加につきましては、基本的には全学校で行うことが望ましいとしながらも、各校の本調査に対しての実状、実態を考慮して、各学校が、その意向を決定することとなっております。したがって、教育委員会におきましては、参加の意向を表明した学校に対して指示・指導・助言を行っていくこととなります。ただ今ご説明した内容につきましては、県教育委員会を通して、口頭ではありますが文部科学省にも確認してある内容であります。このことによりまして、本市におきましては、これらのことを踏まえ、本調査への参加は、各学校の判断にゆだねることとしていきますので、ご承知おきくださるよう、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(質 疑)

青木教育長…現時点での市内の学校の参加意向の状況は分かりますか。

学校教育課長…今年度は、小・中とも5校でございました。来年度は、小学校が6校、中学校が3校参加する予定でございます。実は、まったく同じような調査が県でも行われており、そちらへの参加校もございますので、この程度の参加数となっております。全国調査では、小学校5年生と中学校2年生、質問肢を対象としています。県の場合は、全学年を対象にしており、また質問肢が少なく、学校としては、県の調査の方が参加しやすいという状況でございます。

(その他質疑・応答なし)

③小学校教諭の「結核」罹患について（学校保健課）

学校保健課長…報告事項「小学校教諭の「結核」罹患について」御報告させていただきます。昨年の11月に発生した、市立小学校の教諭の結核罹患に伴い、児童及び教職員の検査を実施いたしました。その結果ですが、検査対象は、濃厚接触者と希望者に分けています。濃厚接触者とは、一定期間、本人と長時間接触のあった者をいいまして、児童が90名、教職員が40名の計130名おりました。当該濃厚接触者は、感染症法に基づきまして、小田原保健福祉事務所において、ツベルクリン反応検査等を実施し、専門医と

協議した結果、これまでの検診結果から、感染はなかったと判断を下し、3月9日付けで、保健所から報告がありました。今後の検診についても、これで終了となります。また、希望者につきましては354名ございました。やはりツベルクリン反応検査の結果、全員結核には感染していないという状況です。

なお、本人につきましては、退院はしておりますが、引き続き通院が続くという状況でございます。以上でございます。

(質疑・応答なし・協議会を終了)